

日本優良成長株オープン (米ドル投資型) / (円投資型)

愛称 **スマートジャパン**

追加型投信 / 国内 / 株式



商品販売用資料
2021年7月

お申込みの際は必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

このファンドは、主に国内の株式等を投資対象としています。このファンドの基準価額は、組入れた有価証券等の値動き、さらに「米ドル投資型」は為替相場の変動等の影響により変動しますので、投資元本は保証されているものではありません。

お申込み・投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は

 **岡三オンライン証券**
OKASAN ONLINE SECURITIES

商号等：岡三オンライン証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第52号
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

設定・運用は

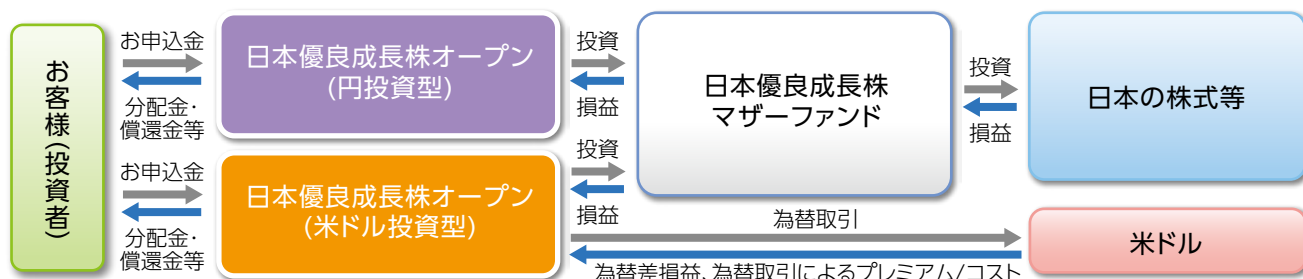
 **岡三アセットマネジメント**

商号等：岡三アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第370号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

ファンドの特色

1 主として、わが国の金融商品取引所上場(上場予定を含みます。)株式のうち、収益性に優れ、成長の持続が期待される企業の株式に投資します。

<ファミリーファンド方式で運用します>



2 投資候補銘柄の選定にあたっては、主にROE(自己資本利益率)や売上高営業利益率などの収益性を表す財務指標の水準、方向性、変化等に着目します。

3 「日本優良成長株オープン(円投資型)」(以下、「円投資型」といいます。)と「日本優良成長株オープン(米ドル投資型)」(以下、「米ドル投資型」といいます。)の2つのファンドがあります。

<米ドル投資型>

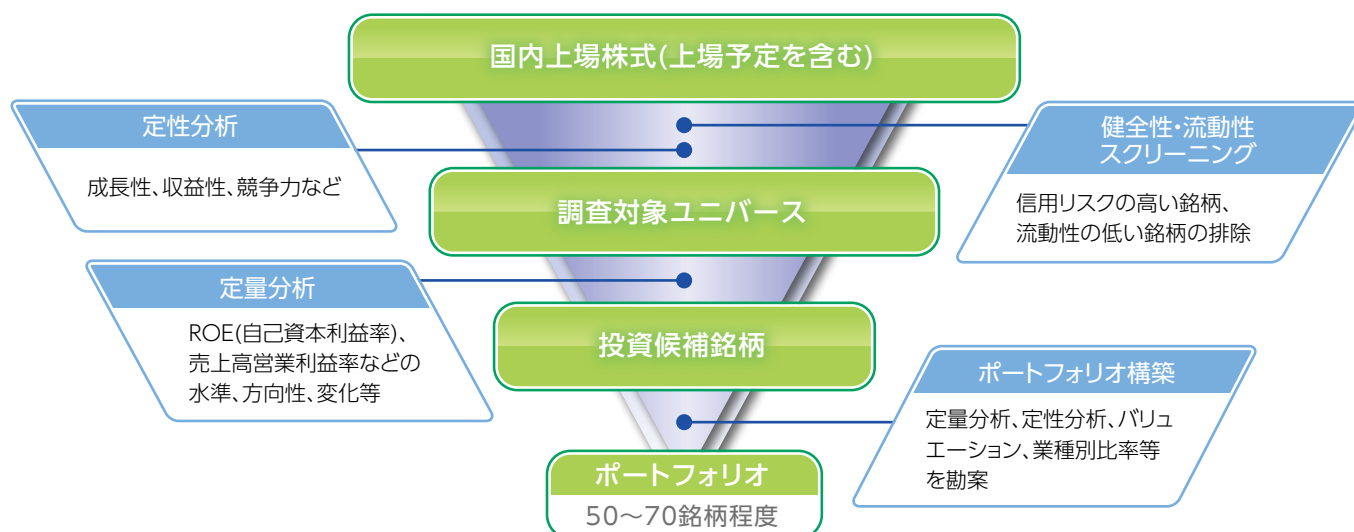
- 円建て資産について、原則として円売り米ドル買いの外国為替予約取引等(以下、「為替取引」といいます。)を行い、米ドルへの投資効果を楽しむことを目指します。
- 純資産総額に対する円売り米ドル買いの為替取引の額は、原則として高位とすることを基本とします。

※各ファンド間でスイッチングが可能ですが、取扱いは販売会社によって異なります。詳しくは、販売会社にご確認ください。

4 株式の実質組入比率は高位を保つことを基本とします。

日本優良成長株マザーファンドのポートフォリオ構築プロセス

ポートフォリオの構築にあたっては、定量分析、定性分析、バリュエーション、業種別比率等を勘案して行います。



※ポートフォリオ構築プロセスおよび銘柄数は今後変更になる場合があります。

資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

優良な成長企業に投資する

1 ROE(自己資本利益率)に着目

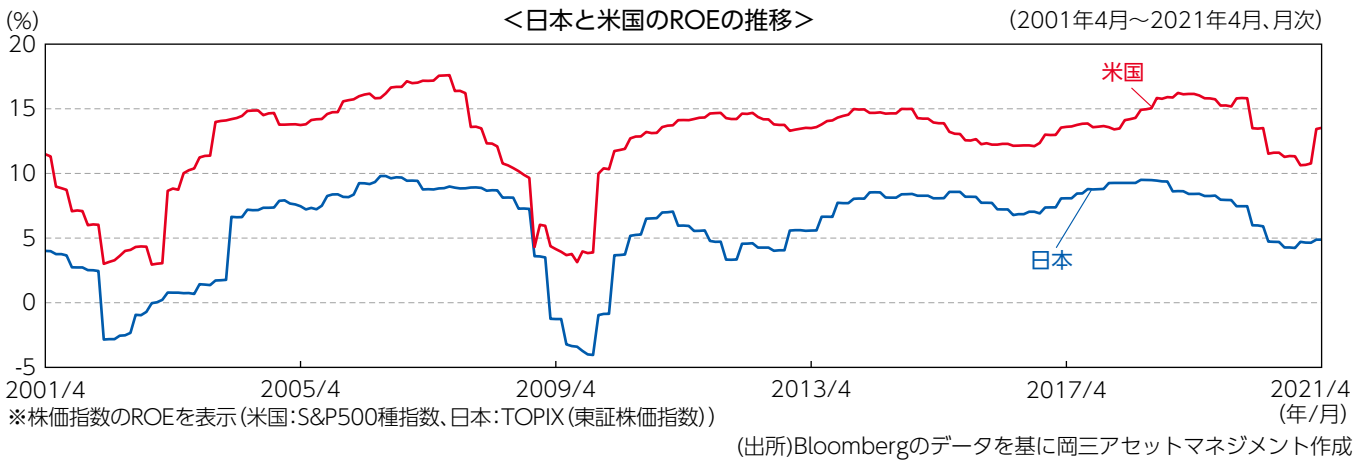
ROEから企業の経営効率をはかる

ROEとは… **株主が出資した資本に対して、どの位の利益を上げているか**を示す指標です。

$$\text{ROE}(\%) = \frac{\text{当期純利益}}{\text{自己資本(株主資本)}} \times 100$$

ROEを向上させるには…

- 積極的な設備投資や販売戦略等で売上を伸ばす
- 費用を抑えながら売上を伸ばし利益率を上げる
- 銀行借入等を有効に活用する などがあります。



2 売上高営業利益率に着目

売上高営業利益率から成長性や収益性をはかる

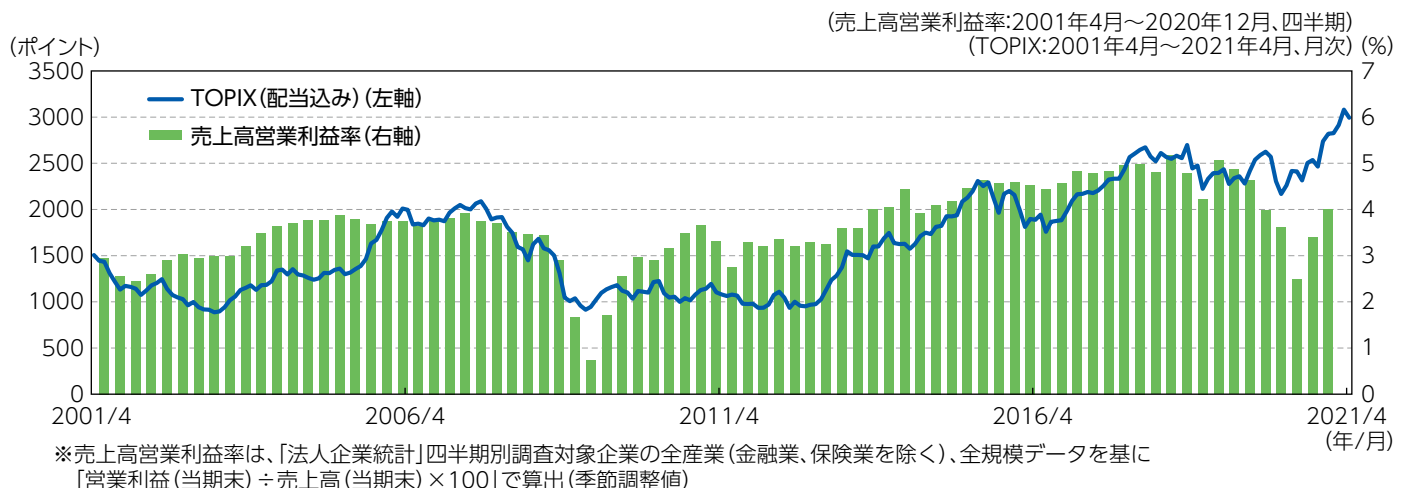
売上高営業利益率とは… **本業からどれくらいの利益を得ることができているか**を示す指標です。

$$\text{売上高営業利益率}(\%) = \frac{\text{営業利益}}{\text{売上高}} \times 100$$

売上高営業利益率が高いということは…

- 企業の成長が見込め、将来の株価上昇期待につながる
- 市場シェアが高いなど価格競争力があり、不況に強い側面が期待できる

<売上高営業利益率と株価の推移>



(出所)財務省「法人企業統計」、Bloombergのデータを基に岡三アセットマネジメント作成

市場環境等についての評価、分析等は、将来の運用成果を保証するものではありません。

「円投資型」と「米ドル投資型」

「円投資型」と「米ドル投資型」をお選びいただけます。

<円投資型>

日本株に投資します。為替取引は行いません。



ROE(自己資本利益率)

株主が出資した資本に対して、どの位利益を上げているかを示す指標です。

売上高営業利益率

企業の売上高に対して、どの位営業利益を上げているかを示す指標です。

水準、方向性、変化等に着目

優良な成長企業に投資

一般に、ROEや売上高営業利益率の高い企業は、効率良い経営をすることで、市場競争力があり、投資魅力の高い企業として注目されています。

<米ドル投資型>

「円投資型」と同じく優良な成長企業株式に投資します。
加えて、円売り米ドル買いの為替取引も行います。



+



日本株の上昇・下落、為替相場の円安・円高によって基準価額は変動します。
日本株の動向だけでなく米ドルの為替レートの動向にも注意が必要です。

●基準価額の主な変動例

変動要因		基準価額の変動	
株価	為替		
上昇	円安 米ドル高		株高と円安米ドル高が同時に起こると、基準価額は大幅に上昇する可能性があります。
上昇	円高 米ドル安	または	株価と為替の上昇率、下落率の大きい方の影響を受けて、基準価額は上昇または下落します。
下落	円安 米ドル高	または	
下落	円高 米ドル安		株安と円高米ドル安が同時に起こると、基準価額は大幅に下落する可能性があります。

※上記はイメージ図であり、実際とは異なる場合があります。

各ファンドの運用実績 (2021年4月30日現在)

*最新の基準価額の推移、分配実績等は、当社ホームページに掲載しておりますので、ご確認ください。

円投資型

● 設定来の基準価額および純資産総額の推移

基準価額	11,094円	純資産総額	4.2億円
------	---------	-------	-------



● 最近5期の分配実績 (1万口当たり、税引前)

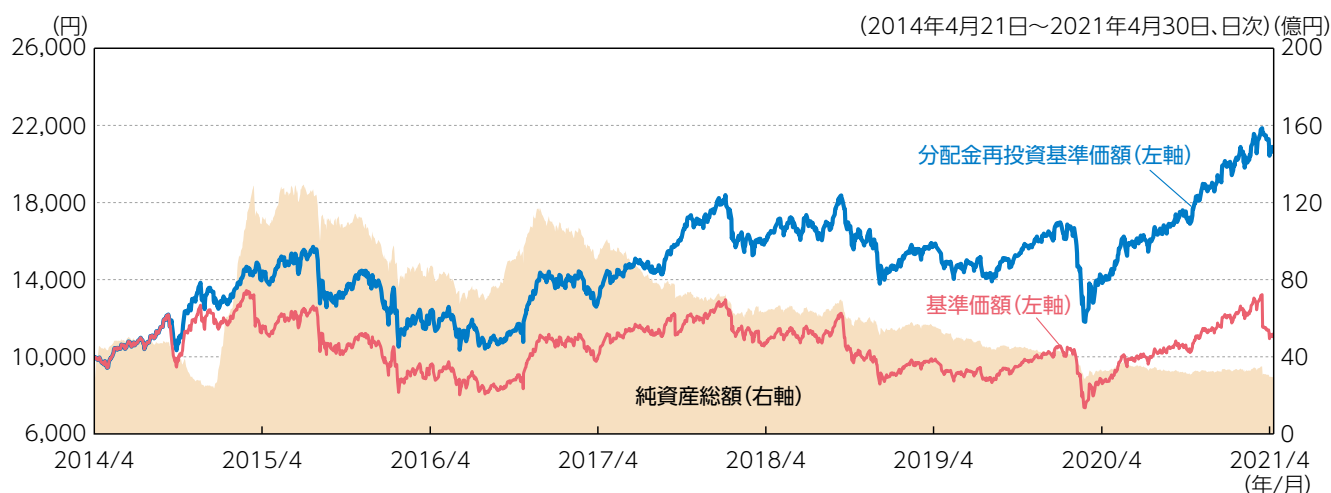
(年/月は決算月を表記)

2019/4	2019/10	2020/4	2020/10	2021/4	設定来合計
0円	0円	0円	300円	1,200円	5,900円

米ドル投資型

● 設定来の基準価額および純資産総額の推移

基準価額	11,103円	純資産総額	29.2億円
------	---------	-------	--------



● 最近5期の分配実績 (1万口当たり、税引前)

(年/月は決算月を表記)

2019/4	2019/10	2020/4	2020/10	2021/4	設定来合計
0円	0円	0円	300円	1,500円	7,300円

※基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。

※分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

※運用実績は過去のものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。また、税金、手数料等の費用を考慮しておりませんのでお客様が得られる実際の投資成果とは異なります。

※分配金は過去の実績であり、今後の運用状況によっては分配金が支払われない場合があります。

「米ドル投資型」の為替取引によるプレミアムとコストについて

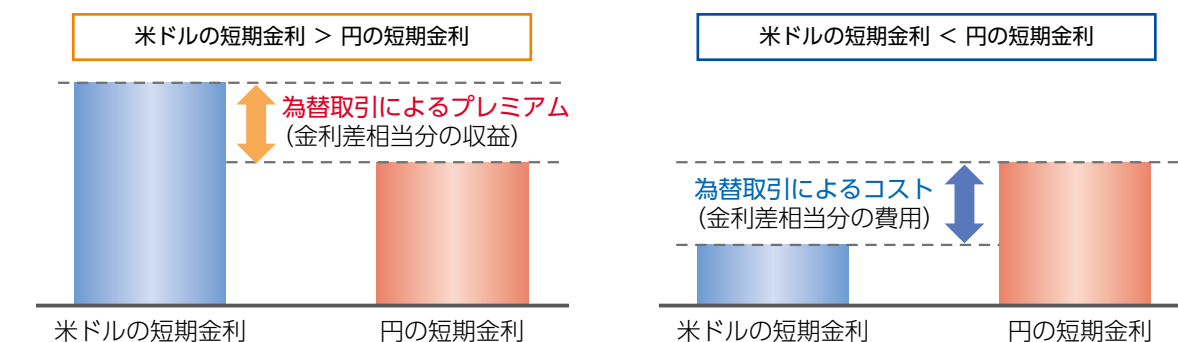
「米ドル投資型」は、円売り／米ドル買いの為替取引を行います。

為替取引を行う際、米ドルの短期金利が円の短期金利より高い場合は、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）が期待できます。反対に、米ドルの短期金利が円の短期金利より低い場合は、為替取引によるコスト（金利差相当分の費用）が生じます。

※為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益） \approx 米ドルの短期金利 - 円の短期金利

為替取引によるコスト（金利差相当分の費用） \approx 円の短期金利 - 米ドルの短期金利

<為替取引によるプレミアム/コストのイメージ>

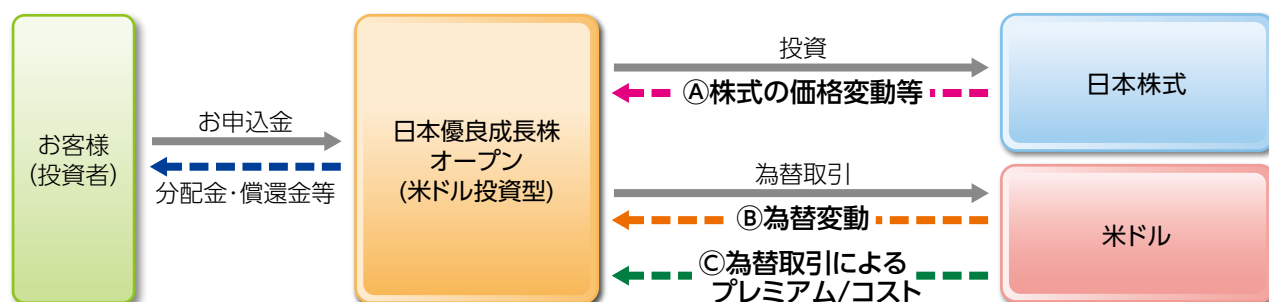


※ 上記はイメージ図であり、実際のプレミアム/コストとは異なります。また、投資成果を示唆、保証するものではありません。

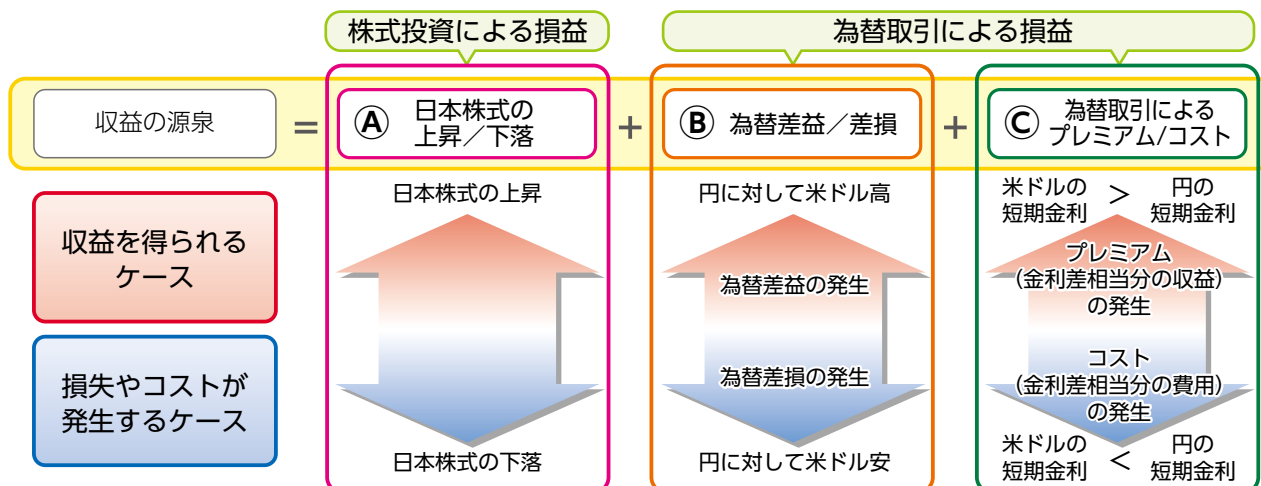
「米ドル投資型」の損益のイメージ

「米ドル投資型」の収益源としては、以下の①②③の3つの要素が挙げられます。下記の2つの図をご覧ください。それぞれの収益源に相応してリスクが内在していることに注意が必要です。

「米ドル投資型」の損益のイメージ図

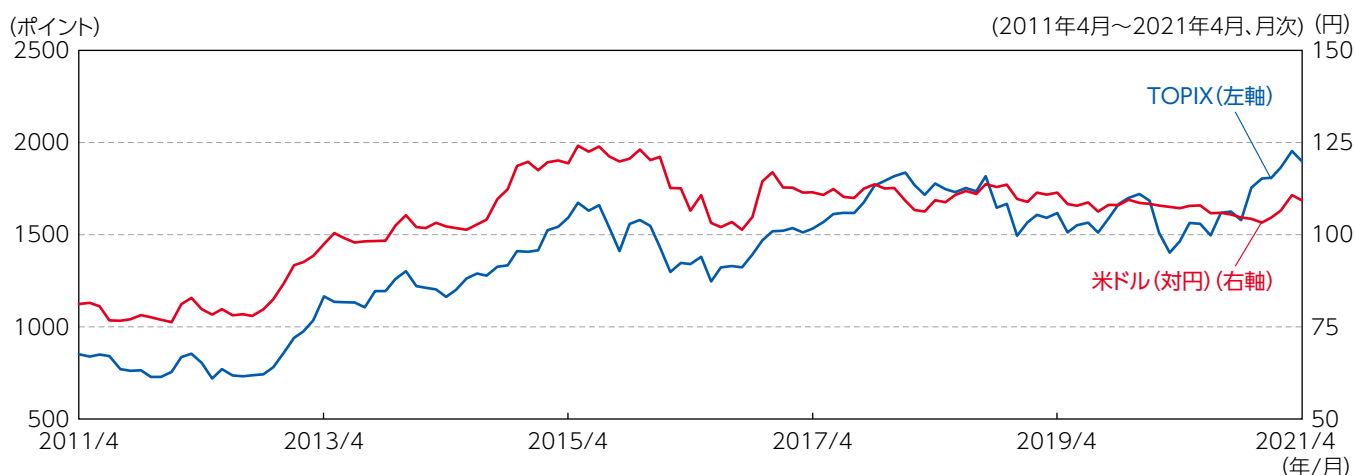


※米ドルの対円での為替変動リスクが発生しますのでご注意ください。



※ 上記はイメージ図であり、実際の投資成果やリスクの大きさを示唆、保証するものではありません。

<参考> TOPIX (東証株価指数) と米ドル (対円) 為替レートの推移



(出所)Bloombergのデータを基に岡三アセットマネジメント作成

市場環境等についての評価、分析等は、将来の運用成果を保証するものではありません。

投資リスク

基準価額の変動要因

投資者の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様に帰属します。

ファンドは、国内の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、「米ドル投資型」は、為替相場の変動により損失を被ることがあります。

主な変動要因

株価変動リスク	株式の価格は、発行会社の業績や財務状況、株式市場の需給、政治・経済状況等の影響により変動します。
為替変動リスク	<p>〈米ドル投資型〉 円建て資産について、原則として円売り米ドル買いの外国為替予約取引等を行うため、米ドルの対円での為替変動の影響を大きく受けます。米ドルに対する円高は、ファンドの基準価額の下落要因となり、米ドルに対する円安は、ファンドの基準価額の上昇要因となります。米ドルの金利が円の金利より低い場合には、これらの金利差相当分がコストとなります。</p> <p>〈円投資型〉 円建て資産について、外国為替予約取引等を行わないため、為替変動リスクはありません。</p>
信用リスク	有価証券等の発行体の破綻や財務状況の悪化、および有価証券等の発行体の財務状況に関する外部評価の変化等の影響により、投資した有価証券等の価格が大きく下落することや、投資資金が回収不能となる場合があります。

※「基準価額の変動要因」は、上記のリスクに限定されるものではありません。

留意事項

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。
- ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファンドが投資対象とするマザーファンドを他のベビーファンドが投資対象としている場合に、当該他のベビーファンドにおいて追加設定および一部解約等がなされた場合には、その結果として、マザーファンドにおいても売買等が生じ、ファンドの基準価額に影響を受けることがあります。
- 取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消すことがあります。

お申込みメモ

購入時	購入単位 販売会社が定める単位 ◆詳しくは販売会社にご確認ください。
	購入価額 購入申込受付日の基準価額
換金時	換金単位 販売会社が定める単位 ◆詳しくは販売会社にご確認ください。
	換金価額 換金申込受付日の基準価額
	換金代金 換金申込受付日から起算して、原則として5営業日目から販売会社を通じてお支払いします。
その他	スイッチング 各ファンド間でのスイッチングが可能です。 ◆スイッチングの取扱いは、販売会社によって異なります。 詳しくは販売会社にご確認ください。
	信託期間 2024年4月5日まで(2014年4月21日設定) ◆各ファンド受益権口数が5億口を下回ることとなった場合、やむを得ない事情が発生した場合等には繰上償還となることがあります。
	決算日 4月および10月の各月6日(休業日の場合は翌営業日)
	収益分配 年2回、収益分配方針に基づいて収益の分配を行います。 ◆将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
	課税関係 課税上は株式投資信託として取り扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度、未成年者少額投資非課税制度の適用対象です。 <米ドル投資型> 配当控除の適用はありません。 <円投資型> 原則として、配当控除の適用が可能です。 税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

お客様にご負担いただく費用

お客様が直接的に負担する費用

購入時	購入時手数料 $\text{購入金額(購入価額} \times \text{購入口数)} \times \text{上限3.3\% (税抜3.0\%)}$ ◆詳しくは販売会社にご確認ください。 ◇ファンドの商品説明および販売事務手続き等の対価として販売会社に支払われます。
	換金時
換金時	換金手数料 ありません。
換金時	信託財産留保額 ありません。

お客様が信託財産で間接的に負担する費用

保有期間中	運用管理費用(信託報酬) $\text{純資産総額} \times \text{年率1.694\% (税抜1.54\%)}$
	委託会社 年率0.75% (税抜) ◇委託した資金の運用の対価です。
	販売会社 年率0.75% (税抜) ◇運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価です。
	受託会社 年率0.04% (税抜) ◇運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価です。
保有期間中	その他費用・手数料 監査費用: $\text{純資産総額} \times \text{年率0.011\% (税抜0.01\%)}$ 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等を投資信託財産でご負担いただきます。 なお、マザーファンドの当該費用につきましては、間接的にご負担いただきます。 (監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。)

- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご参照ください。

委託会社およびその他の関係法人

委託会社 [投資信託財産の設定、運用の指図等] 岡三アセットマネジメント株式会社
受託会社 [投資信託財産の保管・管理等] みずほ信託銀行株式会社
販売会社 [購入・換金の取扱い等] 販売会社の詳細につきましては、下記の委託会社フリーダイヤルまでお問合わせいただくか、ホームページをご参照ください。

委託会社お問合わせ先 【岡三アセットマネジメント株式会社】



フリーダイヤル
0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)



ホームページ
<https://www.okasan-am.jp>

■本資料は、岡三アセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。本資料中の図表等は、各出所先(ホームページを含む)のデータを基に岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものです。記載内容、数値、図表等は、本資料作成時点のものであり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。本資料は当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

■購入の申込みにあたっては、「投資信託説明書(交付目論見書)」及び「契約締結前交付書面」又は「目論見書補完書面」を十分にお読みいただき、投資判断は、お客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

作成: 岡三アセットマネジメント株式会社